

経済概況

金融政策 声明 – 2025年11月

2025年11月26日(水)

「委員会は5対1の賛成で政策金利(OCR)を25ベースポイント引き下げて2.25%とすることを決議した」

そして…

「OCRの今後の動きは、中期的なインフレと経済の見通しがどのように推移するかによって決まる」と述べました。

明るい側面は…

「2025年半ばにかけては経済活動が弱かったが、回復傾向にある。金利の低下が家計支出を促し、労働市場も安定している。為替レートは下落したが、その分、輸出業者の収入が支えられている」

国際的には:

「世界経済は強力なAI関連投資の恩恵を受けて成長しているが、貿易上の障壁が活動の妨げとなり、2026年には減速すると予想される」

とはいえ、依然リスクは存在し…

「インフレ見通しのリスクは均衡している。世帯や企業がさらに慎重になるようであれば、ニュージーランドの経済回復のペースが鈍る可能性はあるだろう」

一方、帳簿をめくれば…

「国内需要が金利低下に対して反応を見せてくると、予想以上に速く、強く回復する可能性がある」

興味深いことに…

「委員会は、OCRを2.50%に維持するか、2.25%に引き下げるかを選択肢として議論し、インフレ目標中間値への回復が長引くことについては許容度が低いことに留意した」

コメント:

声明をまとめると、これまでの「OCRの大幅な引き下げがまだ経済全体に浸透しつつある」過程であることと、「経済指標は回復傾向にあり、2026年にかけて経済活動はさらに活発化すると予想される」ことから、OCRを2.50%に据え置くことが一案として考慮されていました。

それでも、「2024年半ば以降に生じた大幅な余剰生産能力がある」という単純な根拠に基づいて利下げを決定しています。

ブレマン総裁が月曜日から総裁職を全面的に掌握する中で出されたこの声明のポイントは、中銀の見通しが多くの予想よりもずっと均衡したものであり、今後のOCRの動向は中期的なインフレの推移と経済の進展によって決まる、ということでしょう。

マーケットへの影響:

均衡を見せた声明と、委員の一人はOCR2.50%の維持に賛成したことが発表されると、直後にNZD/USDが0.8%急騰し、0.5625から0.5670へと上昇しました。NZDはクロスでも強くなり、NZD/JPYは1%以上跳ね上がって88.75となり、NZD/AUDは0.8750と3週間ぶりの高値をつけました。NZD/EURは0.4900の水準を回復し、NZD/GBPは0.4300を上回り、NZD/CNHは3.9850から4.0215へと堅調に上昇しました。

市場はOCR2.10%を予測、RBNZの2.20%ベースも示唆されていましたが、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)の発表したOCRの動きからは、これ以上の利下げの可能性は低くなったと見られます。スワップレートは短期で5~6bp上昇、長期では4~5bp上昇。先月の安値からの最近の上昇分を実質的に固定しました。これにより、2年物と10年物のスプレッドは115bpまで縮小しました。また、RBNZのOCR予測で2027年第2四半期の利上げが見込まれていることも留意すべきでしょう。

多くの人が是非を議論するでしょうが、価格の動きは底値が形成されたことを示しています。もしそれが本当なら、進む道はひとつです。

* 日本語翻訳文と英語の原文に相違がある場合には、原文の記載事項を優先します。



BANCORP

BANCORP TREASURY SERVICES LIMITED

Barrington
TREASURY SERVICES

Barrington
ASSET CONSULTING



BANCORP

BANCORP CORPORATE FINANCE LIMITED